



2学期「目標や課題の実現・解決に力を合わせ、互いよさを学び合う」学期

『学校を愛する思いをつなげる』

校長 岡部 良美

平成28年11月19日、大泉東小学校開校60周年記念式典が行われました。

本校が開校したのは昭和31年4月1日のことです。それ以来、卒業生は8,436名を数え、そして現在710名の子供たちが学んでいます。記念式典には、卒業生と在校生の代表として、6年生と5年生240名が参加をしました。そして150名を超えるご来賓、保護者や地域の方々にご参加いただきました。

校長式辞では、開校当時のこと、子供たちへの期待について話しました。(一部抜粋)

校舎はできたものの、教室には椅子と机しかありませんでしたし、校庭も整備されていませんでした。PTAや地域の方々が積極的で、地元の商店会の応援をいただき、なんとか短い期間で一人前の学校にしよう、とにかく本家の大泉小に負けない学校にしよう、大泉小よりいいものを学校で使って欲しいと張り合いながら、いろいろな物を学校のために、子供たちのためにそろえてくださったそうです。「大泉小の運動会で花火を15発上げたと聞けば、こちらは20発上げようというわけで、骨折って用意した」というエピソードもPTAの記念誌に残っています。「大泉東小は学校ができて間もないのに、どんどん整備が進み、よその学校からうらやましがられていた」と当時の先生が語っています。地域をはじめすべての方々が、この東大泉の町にできた新設校大泉東小学校を立派な学校にしようという、燃えるような熱意で生まれ、支えられている学校です。(中略)

大泉東小の校章に込められた「地域の期待と支えのもと、大東小の子供として、自分や友達、学校を愛し、まっすぐ立派に成長してほしい」という願いは、開校以来卒業生8,436名により引き継がれているのです。そして、これからはみなさんが70周年につなげていくのです。開校60周年を機に、最高学年の6年生が胸につけている徽章、校章のバッチは、6年生としての役割の重みと、子供の力で大東小をますますよい学校にする期待の証であり、大東小の子供としての誇りなのです。

6年生と5年生は、誇れる立派な態度と代表としての自覚と自信をもってお祝いの言葉や歌を発表することができました。6年生は最高学年の役割を果たし凜として、5年生は6年生の後ろ姿から学び爽やかに、「本気、元氣、根氣、やる氣」をもって本校の伝統にふさわしい1ページを記しました。

当日の午後に祝賀会が開催されましたが、開会を前に、合唱団の子供たち50名が、ご来賓・地域や保護者の方々に感謝とおもてなしの気持ちをこめて、歌を披露しました。澄んだ歌声・美しいハーモニー・明るい笑顔は、聞く人たちに、優しく素直に育っている心の温かい本校の子供たちを実感していただくことができました。

祝賀会のフィナーレでは、PTAコーラス部リードのもと、ご来賓・保護者や地域の方々、教職員の総勢215名で「ふるさと」を大合唱しました。一体感と心の温かさの中、学校を愛する思い、大東小愛という大輪の花が体育館で満開となりました。

○【主な給食使用食材の産地についてのお知らせ 11月】

お米(青森県産 まっしぐら)牛乳(北海道、青森、岩手、秋田、宮城、群馬、千葉)大根(千葉)キャベツ(群馬、練馬区)小松菜(練馬区・埼玉)じゃがいも(北海道)長ねぎ(秋田・新潟・群馬)えのき(長野)にんじん(北海道)里芋(練馬区)さつまいも(千葉)白菜(長野)洋なし(山形)鶏肉(岩手)豚肉(青森)大豆(北海道)湯葉(長野)鮭(北海道、宮城)